

大阪国際サイエンスクラブ

国際交流懇談会

International
Science Club
of Osaka

「最新の XR（クロスリアリティ）技術が繋ぐ、 学術界と産業界の対話の近未来」

新型コロナウイルス(COVID-19)の蔓延により、学術界も産業界もその交流の形は一変しました。国際社会の中でどのように知見を共有してゆけばよいのかという課題に直面する中で、海外の日本人若手研究者のボトムアップの発意から、「バーチャル空間のサイエンスフォーラム」Japan XR Science Forum 2020 in US Midwest (7 月、米国)が世界で初めて実現しました。そこでは、世界中の研究者が国や分野の垣根を超えて、「細胞×最新技術」、「免疫・アレルギー×皮膚」といった知見を交換・議論し、新しい学術と社会の対話のあり方として注目されています。

今回の国際交流懇談会では、日本と欧州をオンラインで繋ぎつつ、最新の XR 技術を活用した仮想空間の国際フォーラムの場に、実際に皆様をお招きします。また、上記のフォーラムでプレゼンテーション・アワードを受賞された京都大学の中島講師より、最新のプレゼンテーション手法による「フォーラム参加を通じた免疫アレルギー研究を中心とした国際動向」についてご報告頂きます。最新の技術を用いた仮想空間の中での国際会議の雰囲気をご存分にお楽しみ頂けますので、IT 関連の方はもとより、VR などの仮想空間にご興味のある方は是非ご参加下さい。

なお、今回は大阪科学技術センタービル会議室にてご講演頂きますが、新型コロナウイルスの影響により会場の収容人数を制限する関係上、Zoom を活用したオンラインでのご聴講も可能としています。皆様のご参加をお待ちしています。

記

1. 日 時：2020 年 12 月 8 日（火） 17:30～19:30
2. 場 所：大阪科学技術センタービル 6 階 605 号室 または Zoom による聴講
3. 講 師：中島 沙恵子 様（京都大学医学研究科 講師（皮膚科学））
足立 剛也 様（京都府立医科大学医療レギュラトリーサイエンス学教室 特任講師
海外日本人研究者ネットワーク(UJA)代表理事兼会長）
4. テー マ：「最新の XR 技術が繋ぐ、学術界と産業界の対話の近未来」
5. 参 加 費：無料
6. 申込方法：申込書欄に必要事項をご記入の上、FAX でお申し込み下さい。
また、同内容を e-mail でお送り頂いても結構です。

<講師ご経歴>

中島 沙恵子 京都大学医学研究科医学専攻皮膚生命科学講座皮膚科学 講師	足立 剛也 海外日本人研究者 ネットワーク (UJA) 代表理事兼会長
 大阪医科大学卒業、京都大学大学院医学研究科博士課程修了。米国 National Institute of Allergic and Infectious Diseases 研究員を歴任。専門はアレルギー性皮膚疾患、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹。日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、医学博士。 免疫アレルギー疾患研究 10 年戦略次世代タスクフォース (ENGAGE-TF) メンバーとして活動を推進。	 慶應義塾大学大学院 医学研究科 医学研究系 博士課程修了。慶應義塾大学医学部皮膚科、AMED 難病研究課を経て、2018 年よりフランス・ストラスブールに赴任、国際 HFSP 推進機構 Scientific Officer、フランス国立科学研究センター CNRS/ストラスブール大学客員教授を歴任。2020 年 10 月より京都府立医科大学大学院医療レギュラトリーサイエンス学教室特任講師。

FAX : 06-6441-0459

または、e-mail:science@isco.gr.jp 大阪国際サイエンスクラブ事務局 行)

国際交流懇談会「最新の XR 技術が繋ぐ、学术界と産業界の対話の近未来」

どちらかに○をつけて下さい。

- ・ 会議室での聴講
- ・ Zoom による聴講

氏名・団体名：

所在地：〒

TEL : () — FAX : () —

e-mail :

氏 名	所 属 ・ 役 職	e-mail

※ご連絡頂いた個人情報は、本事業のご案内及び当クラブに関連する講演会・見学会等のご案内以外には使用致しません。

■大阪方面よりお越しの場合

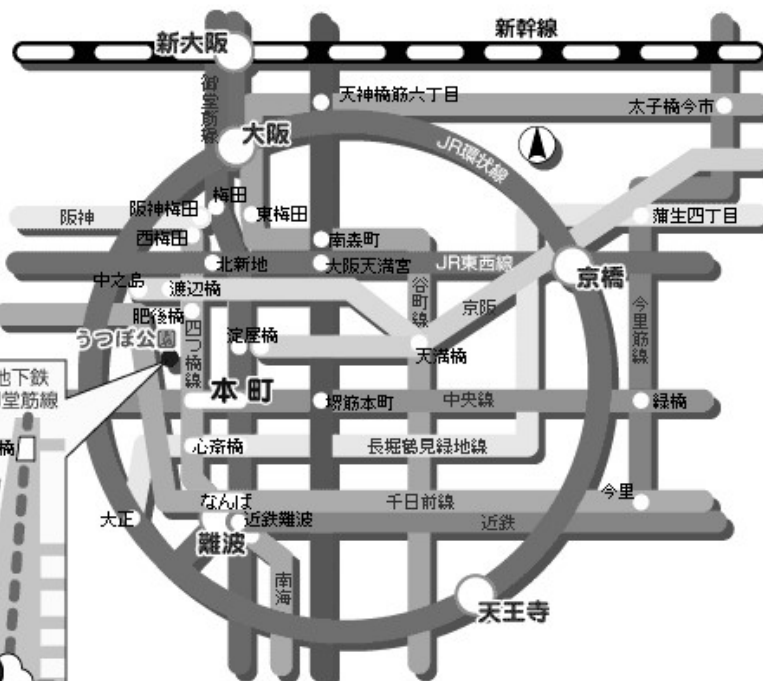
- ▶ 地下鉄四つ橋線「本町」駅下車
28番出口より北へ徒歩3分

■新大阪方面よりお越しの場合

- ▶地下鉄御堂筋線「本町」駅下車
2番出口より西へ徒歩7分

■なんば方面よりお越しの場合

- ▶ 地下鉄四つ橋線「本町」駅下車
28番出口より北へ徒歩3分
- ▶ 地下鉄御堂筋線「本町」駅下車
2番出口より西へ徒歩7分



【ご参考】

○ Japan XR Science Forum 2020 in US Midwest (2020 年 7 月 11-12 日)

(参照・画像等引用) <https://www.engage-tf.jp/post/news005> | <https://www.japanxr-science-forum.org>

バーチャルリアリティ (VR; 仮想現実) 会場で、通常学会とオンライン学会の良さが交差された空間が、コロナ下で若手研究者のボトムアップの発意で実現。京都大学医学研究科 / ENGAGE-TF の中島沙恵子講師が「免疫・アレルギー×皮膚」セッションで皮膚常在微生物に関する研究成果を発表し、presentation award を受賞。

<開催報告・抜粋>

Japan XR Science Forum 2020 in US Midwest は、海外で活躍する日本人研究者とその家族の交流と支援、医療や生命科学を含む様々な分野の融合を目的とし、世界における我が国の科学技術の存在感の向上を目指して開催された国際フォーラムです。仮想空間に設置された会場では、海外日本人研究者による研究発表、異分野間の共同研究に向けた交流、各種アワードのアバターによる贈呈式、留学にまつわる情報提供や、親子科学教室が行われ、日米だけでなくヨーロッパ、アジアなど世界 13 か国から、400 の家族参加を含む 1,117 名の来場があり、会場は賑わいを見せました。(ENGAGE-TF toward 2030 website より)



在シカゴ日本国総領事 岡田健一氏によるアバターでのご挨拶 開会式や閉会式、展示などを行った VRChat 会場の様子

○ Engage-TF：免疫アレルギー疾患研究 10 か年戦略次世代タスクフォース

(参照：<https://www.engage-tf.jp/>)

免疫アレルギー疾患研究の未来を担う医師・研究者とともに、特定の分野にとどまらない新しい連携を通じたセレンディピティの創出を推進。厚生労働省により策定、関連する 7 学会からの推薦メンバーによって構成され、国際的な研究者育成や人材育成基盤の構築を推進。国際的な研究者育成・ネットワーク形成を目的に、国内の主要な学会で「留学のすゝめ」という海外留学や国際ネットワーク形成促進を活性化するイベントを企画・実行している。また、重要な研究課題に関する若手研究者を中心としたチームを学会の枠を超えて形成し、課題解決を図る活動を、産官学民連携に基づく多様な視点から展開している。